

八戸市総合計画策定委員会 第3回専門部会「安心づくり戦略部会」 議事概要

日 時：平成27年4月30日（木） 13：50～15：10

場 所：八戸グランドホテル2階 グランドホール

出席委員：6名

川本委員（部会長）、高木委員（副部会長）、古戸委員、越後委員、浮木委員、川村委員

事務局：

政策推進課（西澤室長・石塚主査）、防災危機管理課（高村副参事）、健康増進課（佐々木副参事）、総合保健センター推進室（小笠原副参事）、管理課（類家副参事）、福祉政策課（豊川課長、出河副参事）、高齢福祉課（嶋森副参事）、障がい福祉課（榊原副参事）

（株）ケー・シー・エス 東北支社 佐野

次第：

1 開会

2 部会長あいさつ

3 審議案件

審議1. 第5章戦略プロジェクト（計画4次案）について

4 その他

5 閉会

審議案件に関する主な意見：

**戦略3 安心づくり戦略**

**【戦略全体について】**

・特に意見なし。

**1. 地域防災プロジェクト**

**【プロジェクト全体や名称について】**

・想定される事業が「防災」と「減災」のどちらに区分されるのか。各事業を「防災」「減災」のどちらかに整理するとわかりやすい。

（補足：「防災・減災」という1つの言葉として使用している。事業の整理は行わないことで協議済み）

**【現状と課題について】**

・特に意見なし。

**【プロジェクト指標について】**

・特に意見なし。

### 【展開する施策について】

#### ■施策1：防災・減災対策の強化

##### ①公共施設等の耐震化について

- ・災害時に避難所となる施設の周辺など、大規模民間建築物以外についても耐震・防火対策が必要。

##### ④避難体制の強化について

- ・防災訓練には、障がい者や高齢者の参加が必要。

#### ■施策2：自助・共助による防災まちづくりの推進

##### ①自助・共助の意識の醸成について

- ・「小・中学校における防災教育（防災ノート等）」は、子ども向けの教育に限定される。親を巻き込んだ防災教育等を行い、大人の防災意識も醸成することが必要。

##### ②地域の防災体制の強化について

- ・防災活動の取組には地域差があることから、活発な取組を行っている地域の事例を整理し、他地域へ周知することが必要。
- ・地域の防災活動には、中心的な役割を果たすリーダーの存在が必要。

## 2. 健康・福祉プロジェクト

### 【プロジェクト全体や名称について】

- ・特に意見なし。

### 【現状と課題について】

- ・特に意見なし。

### 【プロジェクト指標について】

- ・「標準化死亡率」は一般的な指標とは言えない。平均寿命などわかりやすい指標にすること。

### 【展開する施策について】

#### ■施策1：地域における保健・福祉活動の充実

##### ①健康づくり活動の促進について

- ・医科だけでなく、歯科についても検診の充実が必要。
- ・今後は、在宅での口腔ケアが重要になる。

##### ②見守り体制の強化について

- ・地域での見守り活動を継続させるためには、報告書や手続きの簡素化を図るなど、住民や町内会等の負担とならないよう、配慮が必要である。

#### ■施策2：質の高い医療環境の整備

- ・医師については、今後増加が見込まれており、看護師や薬剤師不足の方が問題。

## その他意見

- ・特に意見なし。

### 【第3回結果概要】

- ・大規模民間建築物以外の木造建築物等についても耐震・防火対策が必要。
- ・防災訓練は障がい者や高齢者を含めた形で実施し、実態に即した訓練を行うことが望ましい。
- ・子どもだけでなく、親を巻き込んだ防災教育を行い、幅広い世代の防災意識の醸成に向けた取り組みが必要。
- ・活動が活発な自主防災組織の取組事例を整理し、他地域との間で情報を共有することで、地域全体の防災力の向上を図ることが必要。
- ・地域での防災活動を促進するためには、リーダーの育成が必要。
- ・「2. 健康・福祉プロジェクト」プロジェクト指標「標準化死亡比」は、一般的な指標とは言えない。平均寿命などわかりやすい指標に変更すること。
- ・医科だけでなく、歯科についても検診の充実が必要。
- ・地域での見守り活動を継続させるためには、住民や町内会等の負担とならないよう、配慮が必要である。